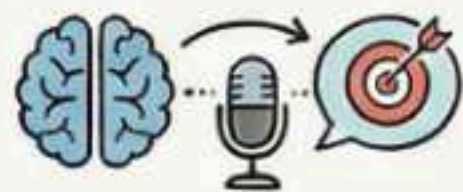
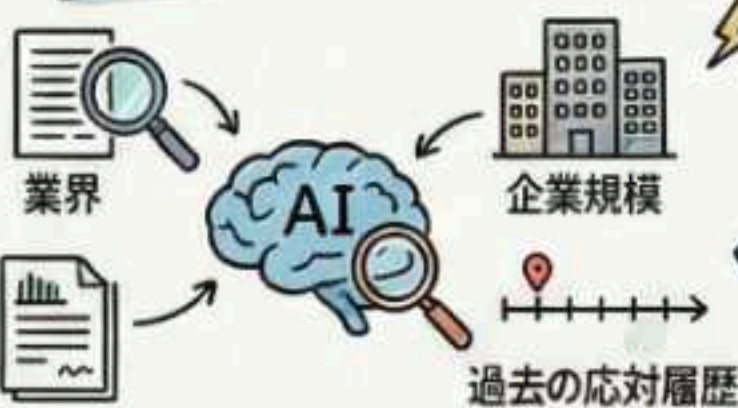


# AIが創り出す「成約に繋がる声」：AI制御ボイス最適化CTI



顧客の属性に合わせてAIが最適な「声」を自動選定・変換し、営業成果を最大化する仕組み

## 成果を出すための4ステップ



### 1. 顧客特性の自動解析

業界、企業規模、過去の対応履歴から顧客の好みをAIが分析します。



### 2. 最適な「ボイスモード」の推奨

「落ち着いた男性」「知的な女性」など、成約率が高い声をAIが提案します。



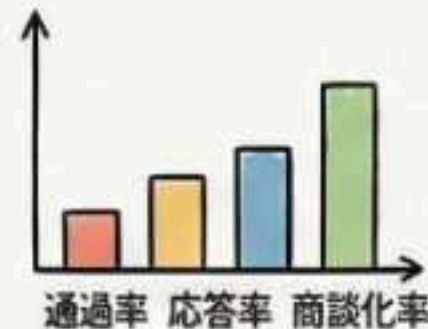
### 3. リアルタイム音声変換

オペレーターの声を、選択したモードへ瞬時に変換して送ります。



### 4. 成約

## 導入による3つの革新



### 営業指標(KPI)の劇的向上

通過率、応答率、商談化率をデータに基づき最大化します。



### 脱・属人化と品質の均一化

架電者の声質に依存せず、誰でも高いクオリティで対話が可能です。



### AI自身が賢くなる学習機構

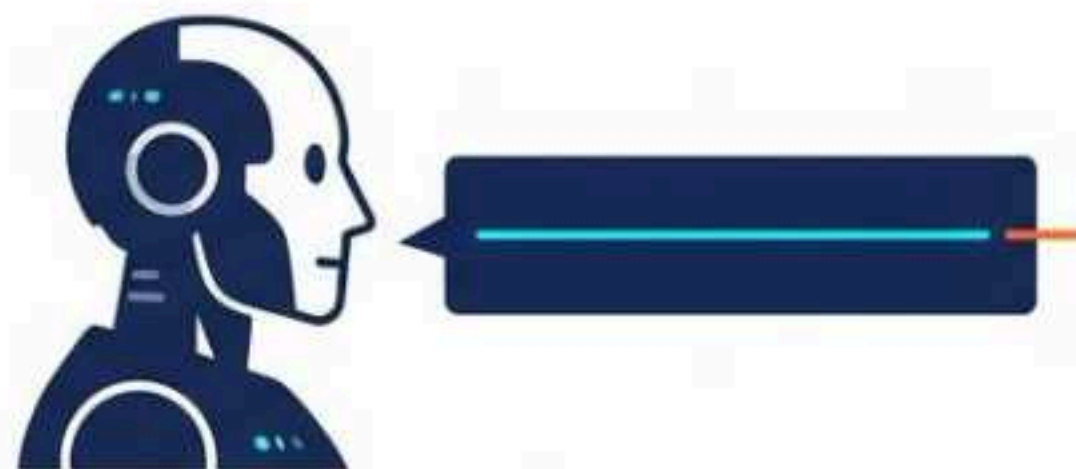
通話結果をフィードバックし、推奨精度を自動でアップデートし続けます。

# 従来のCTI・架電業務における「通過率・商談化率の壁」



## 属人的なオペレーター架電

個人の声質や話し方のスキルに激しく依存し、チーム全体での成果にばらつきが生じる。



## 画一的なボイスボット

顧客の属性や心理状態に関わらず、固定された単一の人工音声で対応するため、最適化に限界がある。

「誰にでも同じ声・同じトーン」で話しかけるアプローチは限界を迎えている。

# パラダイムシフト：「声」の動的最適化へ

## 瞬時解析

顧客の「業界」「役職」「過去の応答履歴」を瞬時に読み込む。

## AI予測

その顧客に対し、最も商談化率が高まる「声質（音色・話速・トーン）」をAIが予測。

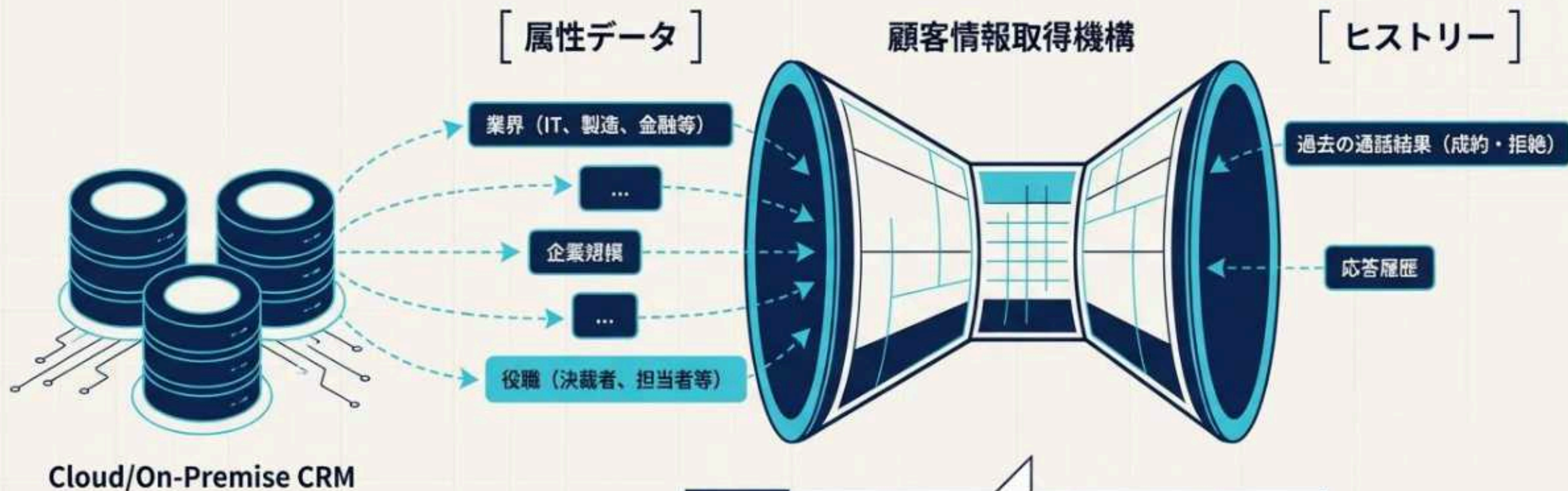
## 動的生成

リアルタイムでオペレーターの声を変換、または最適なAI音声を生成して架電する自己学習型システム。



# Step 1: インプット（顧客特性の取得）

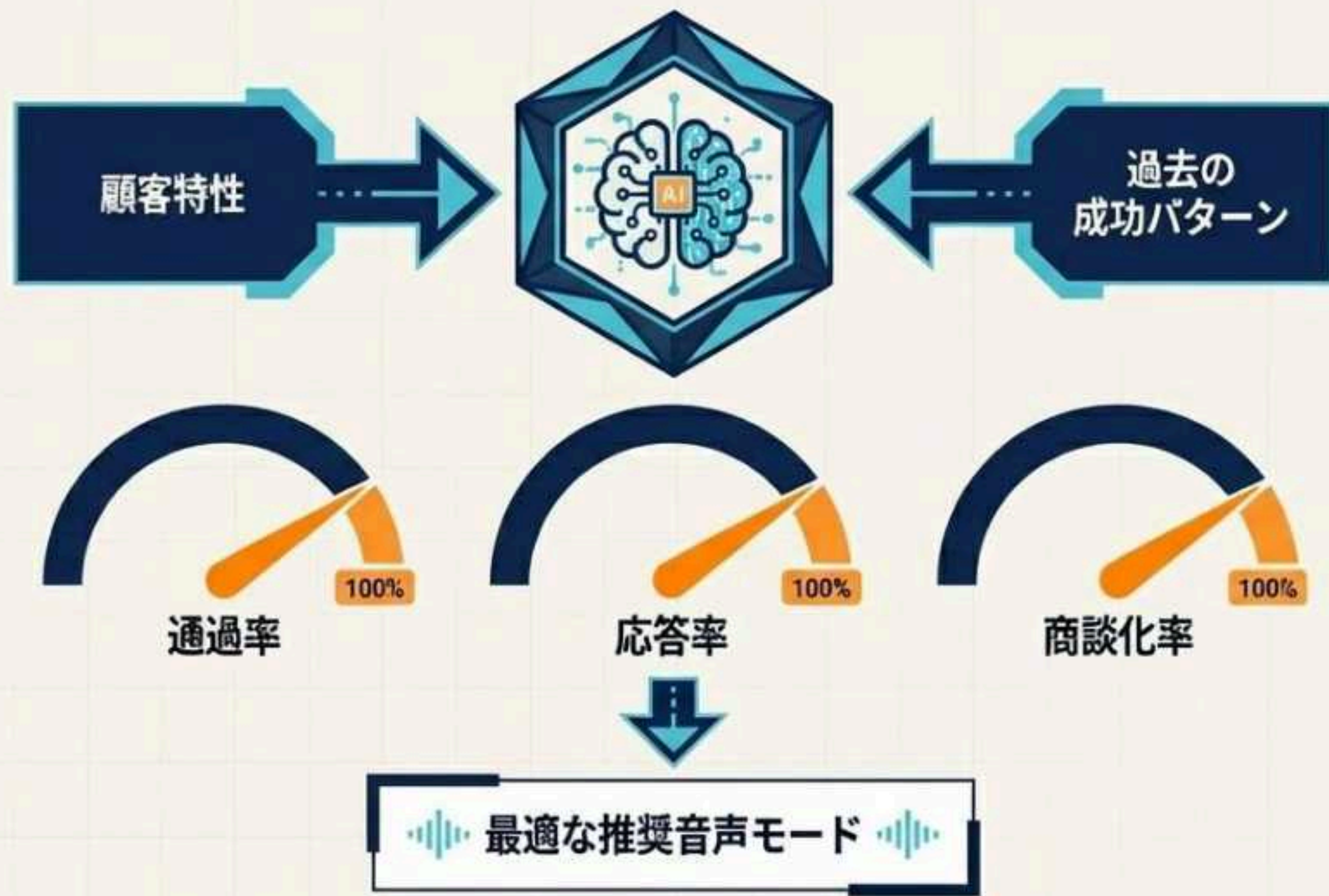
あらゆる顧客接点データをシームレスに統合



これら無数の変数が、最適な声を選定するための  
第一のインプットとなる。

# Step 2: AI解析エンジン（最適化ロジック）

営業成果指標（KPI）に基づくデータドリブンの音声選定



AIが顧客特性と過去の成功データをリアルタイムで照合。

算出指標: 通過率、応答率、商談化率。

「この業界の決裁者には、どの声が一番響くか？」を瞬時に計算し、最も期待値の高い音声モードを決定。

# Step 3: 音声モードデータベース

多様なペルソナを格納する「声の武器庫」

## Calm Male (落ち着いた男性)

音色：低音域 | 話速：やや遅め |  
トーン：信頼感



最適ターゲット：金融・決裁者

## Smart Female (知的な女性)

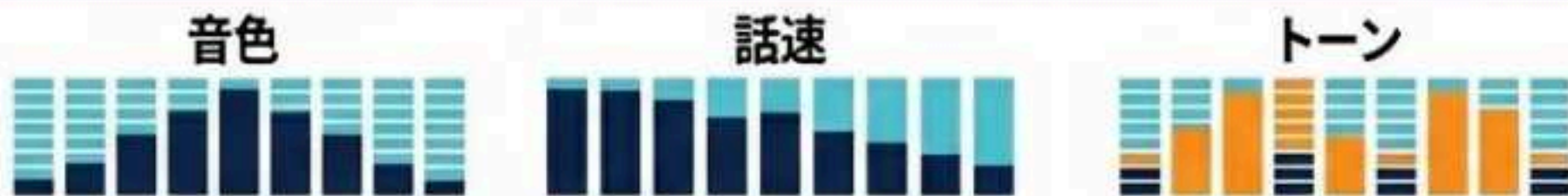
音色：中高音 | 話速：標準 |  
トーン：明瞭・論理的



最適ターゲット：IT・企画担当

## Dynamic Male (力強い男性)

音色：中音域 | 話速：やや速め |  
トーン：熱量・エネルギッシュ

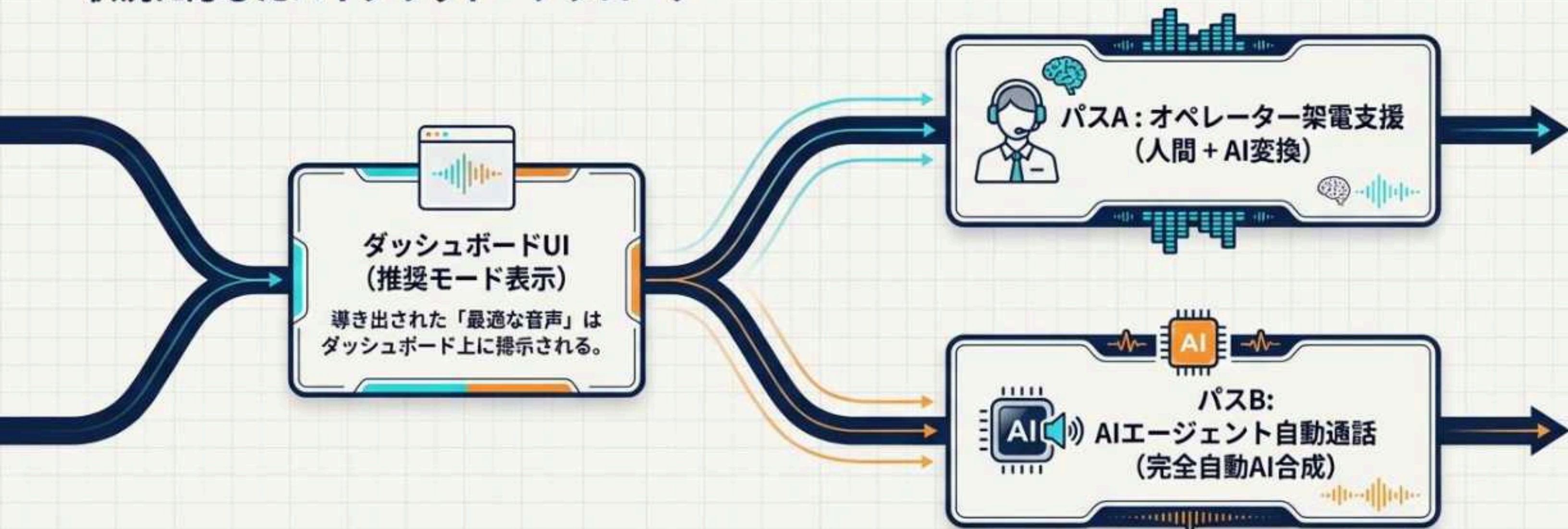


最適ターゲット：新規開拓

業界分類や属性に応じた無数の音声特徴パラメータを即座に引き出し可能。

# Step 4: 2つの実行パス（アウトプットの全体像）

状況に応じたハイブリッド・アプローチ



システムは「人間」と「AI」、どちらの架電プロセスにおいても推奨音声をシームレスに適用する。

## Step 4-A: オペレーター架電支援

地声を理想的な声へ、遅延なくリアルタイム変換

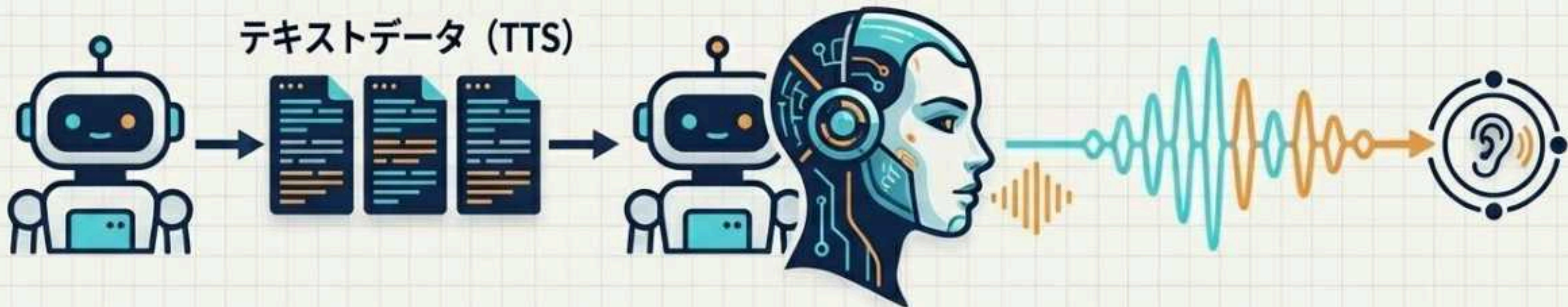


- **変換:** オペレーター自身の声を、AIが推奨する音声モードにリアルタイムでボイスチェンジ。
- **操作性:** 推奨モードの自動適用、または手動での別モード選択が可能。

**メリット:**  
個人のスキル差（属人性）を完全に排除し、チーム全体でトップパフォーマンス級の通話品質を均一化。

## Step 4-B: AIエージェント自動通話

最適な声で発話する、高度な自動音声合成（TTS）



- 生成: 自動架電・自動応答において、推奨された最適な音声パラメータを適用して合成音声を生成。
- 適応: 相手の業界や役職のコンテキストに合わせた自然な対話を実現。

メリット:

従来の「機械的な固定音声」による初離脱を防ぎ、自動通話でありながら高い応答効果と滞在時間を維持。

## Step 5: 学習サイクル（継続的改善）

使えば使うほど進化する自己改善ループ

**3. 学習と更新**  
顧客特性と音声モードの「対応関係」を学習機構が再学習。



**1. アクション**  
変換・生成された音声での通話完了。

**2. フィードバック**  
通話結果（成約・拒絶・応答時間等）をシステムに還元。

進化: 次回以降の推奨精度が自己更新され、システム全体の成約率が持続的に向上。

# 期待されるビジネスインパクト



## 圧倒的な コンバージョン向上

顧客属性に合致した「声」により、初期の警戒心を解き、通過率・応答率・商談化率を最大化。



## 組織の底上げと 属人性排除

新オペレーターでも、システムを通じて「熟練トップセールスの声とトーン」を初日から再現可能。



## 高ROIな 自己成長システム

学習機構により、導入後も時間と共に精度が向上。長期運用において高い適応性能を維持。